

# 総務経済 常任委員会 レポート

## 12月定例会において「所管事務調査報告」が行われました。

総務・経済常任委員会は9月定例会以降、所管事務調査を3回にわたり開催し、12月定例会において「所管事務調査報告」が行われました。

### 調査した事務調査

#### 第7回総務・経済常任委員会 10月5日開催

- 総務課
  - ・ふるさと納税について
- 保健福祉課・病院事業
  - ・地域包括ケアシステムの取り組み状況について
- 現地調査
  - ・薬師山芝桜土留工事
  - ・駅周辺整備事業

#### 第8回総務・経済常任委員会 11月20日開催

- 産業経済課
  - ・ヒジキ養殖技術導入事業及び木古内産ヒジキブランド化事業について
  - ・塩蔵ワカメ施設整備事業について
  - ・みそぎ浜の海浜側整備について
- 病院事業
  - ・国民健康保険病院事業会及び介護老人保健施設事業会計の上半期収支状況について
- 建設水道課
  - ・水道事業会計及び下水道事業特別会計の上半期収支状況について

- 現地調査
  - ・スポーツセンター耐震改修工事

#### 第9回総務・経済常任委員会 11月26日開催

- まちづくり新幹線課
  - ・人口減少対策について（継続）
  - ・観光交流センターについて（継続）

### 「所管事務調査報告」

#### ふるさと納税 について

今年度から我が町においてもふるさと納税推進事業が実施され、上半期の状況報告では予算計上に見合った寄付金実績となっている。その中で、返礼品の品切れ対策として特産品の新規開発を依頼し、早期に代替え品を準備した事は評価に値する。今後の事業展開として、下記記載の課題への取り組みを求めると



品薄状態の「はこだて和牛」

ともに、ふるさと納税推進事業実施要項に基づき、引き続き木古内町のPRや町内事業者の活性化に努められた。

### 塩蔵ワカメ施設整備 事業とヒジキブラン ド化事業について

近年、回遊魚の不漁や台風・高水温等の気象状況による被害の発

● 早い時期での民間業者への委託

予算措置

● 2年目になる平成28年度に向け、向上心あふれる目標数値と

● 返礼品の商品確保と品切れ対策について

● 担当課と協議・調整

● 寄付者にとつて、魅力のある多彩な商品

構成（商品数拡充）

● 生により漁業者の生活は大変厳しい状況が続いている。そのような状況の中で、地方創生と北海道の補助金を活用し、二つの事業が進められている。

● 両事業については、漁家の収入増や雇用の

● 今後、上磯郡漁業協同組合や漁業者と連携を取りながら、試験・調査等を慎重に進め両事業の目的達成を望む。

● 場の創出、さらには木古内町の特産品としての確立を図ることが目的であり、収支計画を見ても大いに期待の持てる事業である。

● 第2回、第3回定例会に引き続き報告する。木古内町の最優先課題である人口減少対策は、目に見える施策の展開



漁業関係者ヒジキ先進地視察（三重県鳥羽市）

### 人口減少対策 について

第2回、第3回定例会に引き続き報告する。木古内町の最優先課題である人口減少対策は、目に見える施策の展開